GS1コードとQRコードを利用した

最新！リコール対策

＋

JTDNA®
特定非営利活動法人
日本テクニカルデザイナーズ協会

モバイルを使ったリコール対策をご案内します。

資料作成・提供　©PROCONSULTS2014.3.1 Y.Watanabe【無断複写複製転記転載禁止】

従来のリコール告知

- ■全国版の新聞社告費用は５紙で 3,000万円とも言われている
- ■実際の回収効果には直接反映していないことが多い
- ■新聞社告などでは継続告知が難しく企業サイトでは情報が多く探しにくい
- ■新聞やテレビ離れが進み従来の告知方法では限界
- ■食品リコールと、いわゆる経年劣化などを含んだ工業製品リコールとは対応方法が異なる
- ■日本で生活する諸外国の方には安全情報が伝わっていない

＜食品のリコール社告の記載例＞

できるだけ認知しやすくしましょう（文字を反転、枠で囲む、太い文字）

一般の社告と区別できるように、タイトルに「リコール社告」と入れましょう

どの食品をリコールするのかタイトルに入れましょう（会社名も入れましょう）

回収（または交換等）する旨を入れましょう

特に危険性（健康被害）がある場合には、その旨を明示しましょう

イラスト等
・対象商品の図、写真
・JANコード
・賞味期限（記載場所）
・問題箇所
等を明示

どの商品かを速やかに特定しやすくするために、できるだけイラスト等を記載しましょう

回収告知チラシ (PDF: 1.03MB)

回収告知チラシ (PDF: 255KB)

回収告知ポスター (PDF: 2.75MB)

本体表示 QR コードを利用して正しい消費方法を伝える。

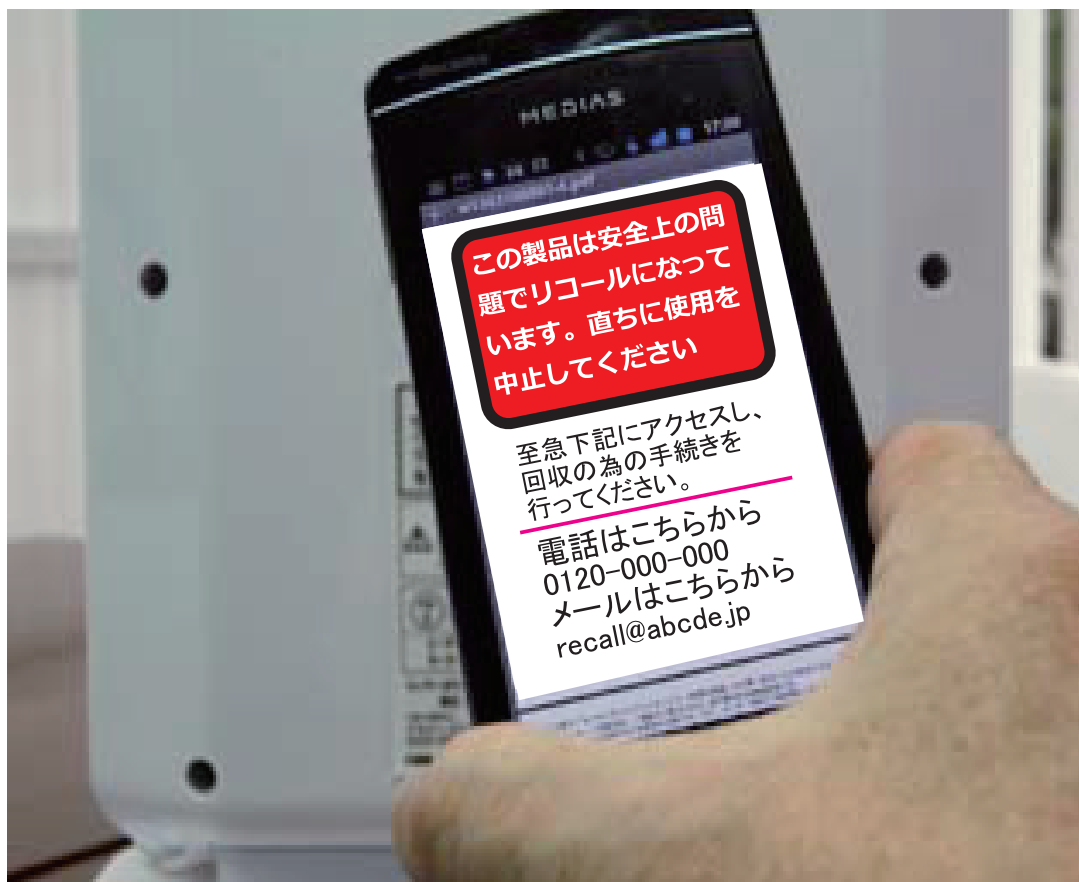
QR コードで「安全上の説明文書」にリンクさせる！

梱包物表示

食品パッケージ

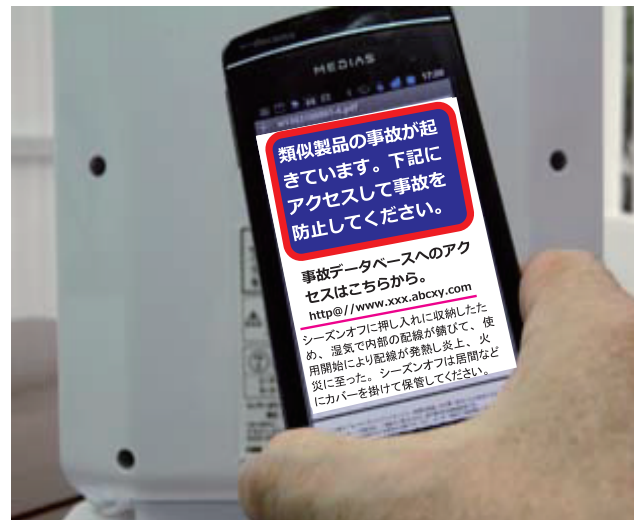
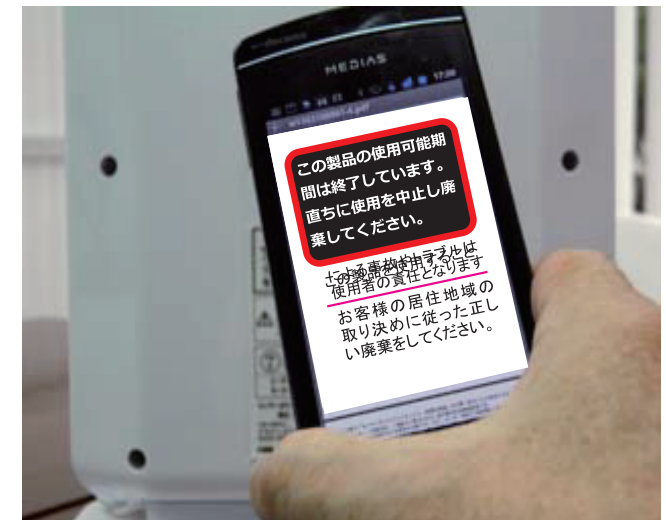
●購入者宛 DM でシールを直送
●レジでシールを印刷して渡す
●通販カタログ、広告などにコード印字

雑貨、家具、家電製品など

リコール情報

モバイルを使って安全性の確認ができます！

経年劣化などが安全に影響する製品

安全点検時期のお知らせ

類似製品の事故情報

製品寿命到来の案内

長期使用製品安全点検・表示制度対象製品などに有効！
暖房器具、照明器具、扇風機、換気扇、住宅設備機器などに！

システムの利用方法例

コンテンツ配信管理システム

①

JAN コード
企業名
製品名称
型式やロット
(寿命設定など)
配信コンテンツ

初期設定コンテンツ

その他コンテンツ

行政のリコールデータベース
製品事故データベース

自動認識コード用
(QR コードなど)
URL などの発行

②

BtoB

自動認識コードの製品（パッケージ）などへの表示
利用事例イメージ

③

自動認識コード作成

④

食品パッケージ

家電製品（テレビなど）

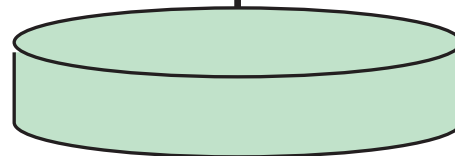
電気製品裏面表示

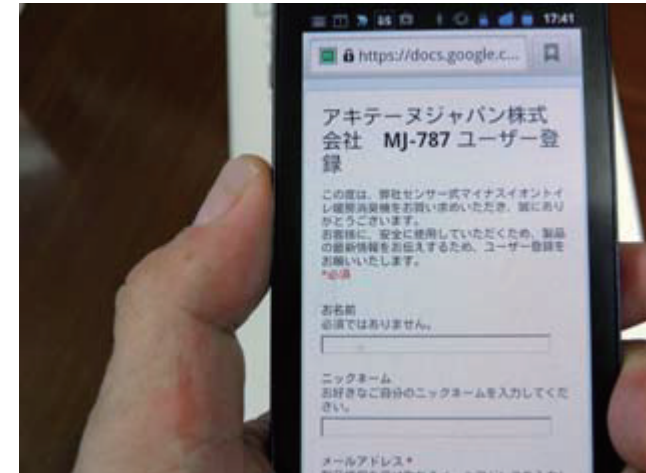
購入者宛 DM などに
シールにして直送

梱包物表示

電気製品表面表示

消費者向け安全情報

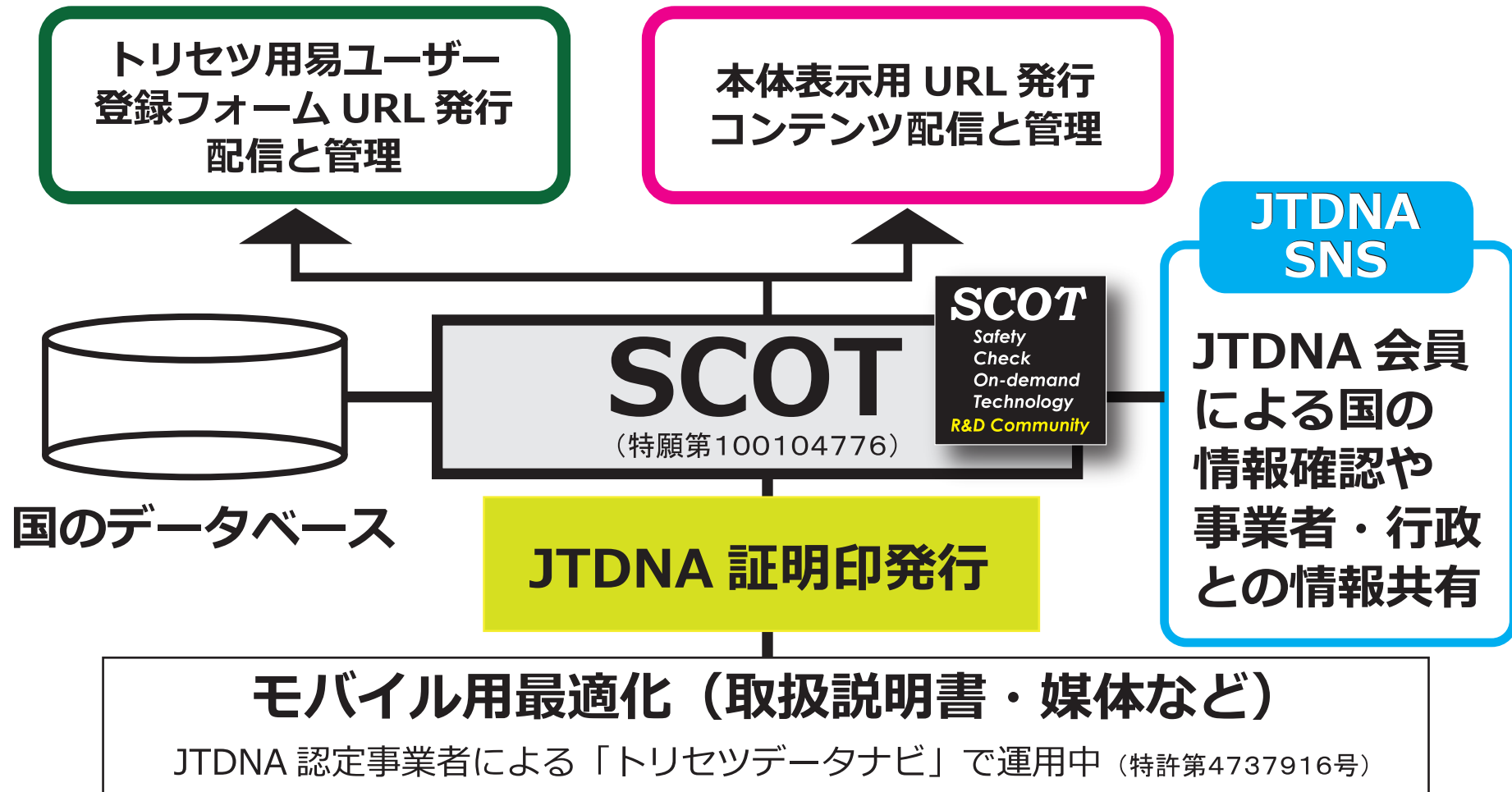
本体に表示されたコードをスマートフォンなどで読み取る
この製品は安全上の問題でリコールになっています。直ちに使用を中止してください
至急下記にアクセスし、回収の為の手続きを行ってください。
電話はこちらから
0120-000-000
メールはこちらから
recall@abcde.jp
大豆
乳糖
CtoC
WWW
安全上のお知らせ
この製品の期待寿命は販売後５年です。詳しくは取扱説明書をお読みください。
取扱説明書
コンテンツ配信管理システム
自主回収情報
その他コンテンツ
行政のリコールデータベース
製品事故データベース

実使用者情報を得る！

モバイルで簡単ユーザー登録（購入者だけでなく全てのユーザーが登録できる）

使用者登録画面

- 使用者の個人情報は要らない。メールアドレスだけが必要。
- 商品ごとの入力フォームで、利用者は余計な入力が不要。
- 同等品買い替え情報などに誘導できる。

現在の取り組み

モバイル用最適化（取扱説明書・媒体など）

JTDNA 認定事業者による「トリセツデータナビ」で運用中（特許第4737916号）

※現在当協会の賛助会員などにより試験運用を開始している事例です。

情報を特定する手段が重要に！

日本語では誤変換や読み間違えリスクが生じる。

48 カ月以内に消費される消費財

- ブランドオーナーを特定する情報
- 製品（商品）を特定する情報
- ロットなどを特定する情報

現行の JAN(GS1）コード

48 カ月以上使用される耐久消費財

- ブランドオーナーを特定する情報
- 品名・型式を特定する情報
- ロットなどを特定する情報

長期使用のできる標準化されたコードが必要

販路や消費地の国際化には世界標準が重要になる
国のデータベースなどにも多いに関係する

配信コンテンツの信頼性
コンプライアンス、視認性などの客観評価検証

48カ月以内に消費される消費財

いわゆる説明するための表記文
宣伝広告ではなく「安全関連情報」
多言語化に適した文書、内容

48カ月以上使用される耐久消費財

スマホ最適化された取扱説明書など
長期配信に耐えるデータ
多言語化に適した文書、内容

第三者による検証など
大量に扱うための対応力
継続的な人材育成

GS1QR コードに期待すること

①世界標準コードなので、消費地がグローバルになっても製品責任主体や商品名称などが特定できる

②日本語であるがためのリスクを回避し、リコールなどの際、誤配信リスクを回避できる

③JAN コードの視覚的イメージを QR コードを使うことで商品のデザイン性を損なわない

④本体表示する上でスペース的な制約が解消する

⑤白黒表示のため、製品コスト・退色劣化リスクが低減できるなど

課題

①消費者が安全性確認の手段として、この QR コードの有効性を知らしめる国による広報活動

②消費者安全法、表示基準などを整備し、本体表示にこれらのコードを刻印することを義務化する

③リコール実施に際して、アクセス解析を行い製品の実使用者への通知などが行える法整備

④世界標準体系の中に通用する環境整備

⑤国のデータベースと連動し、国主導による事業者のリコール負担軽減を図るインフラ整備としての利用など

GS1QR コードで実現すること

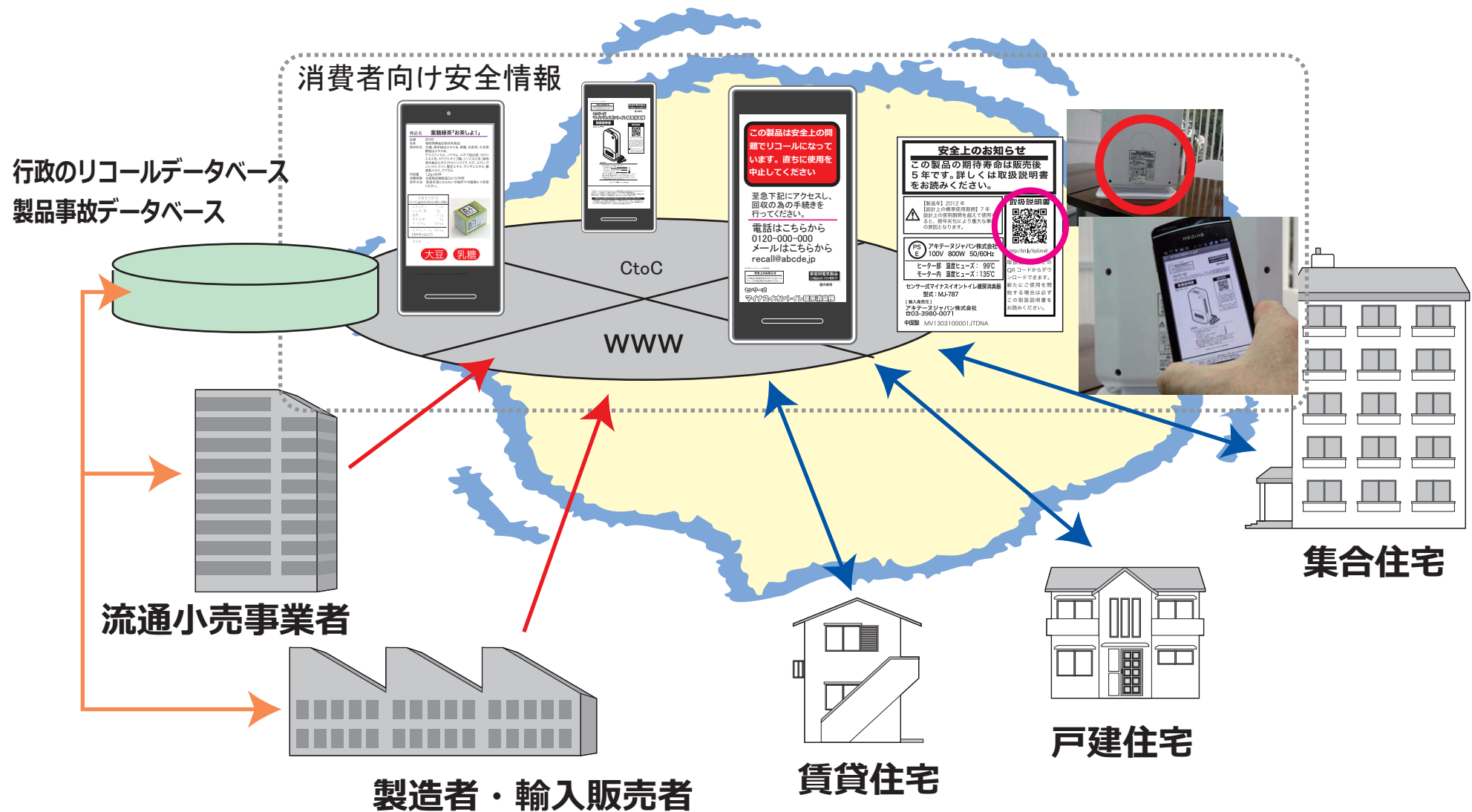
(01)4582268500000(8200)http://bitly/125DAzv

GS1QR コード

家庭用家具
型式 XX-000
輸入発売元
ABCD 商事株式会社
日本製

GS1QRcode
http://bit.ly/125DAzv

一つの国際標準化された QR コードで「事業者側情報」と「消費者に必要な情報」が得られる

GS1QR コードを利用することで、ワンクリック登録、家まるごと！安全管理が実現

双方向トレーサビリティの実現

ご清聴ありがとうございました。